

<p>1 部の 使命</p>	<p>議会事務局は、適切な緊張関係を背景とした地方自治における二元代表制のもと、市民にとって最良・最適な意思決定が行われるよう、議会の政策立案や監視等における助言スタッフとして機能することにより、持続可能なやぶぐらし幸せ社会を実現します。</p> <p>【評価】 【原因】 【方向】</p>
<p>2 それ まで の経 営評 価</p>	<p>【評価】 【原因】 【対応】</p>
<p>3 外部 環境</p>	<p>◎機会 【政治】 全国市議会議長会での標準市議会会議規則の改正 【社会】 コロナ禍におけるICT環境の必要性</p>
<p>4 内部 環境</p>	<p>○強み 【人材】 多様な議員による4つの会派構成 【協働】 産学官金公民における人口課題の共有 ▽弱み 【市民】 議会モニターの固定化 【情報】 ICT課題の未達事項</p>
<p>5 重要 経営 課題</p>	<p>【政策】 政策立案できる議会を目指す。 【情報】 市民から親しまれる議会だよりを発行する。 【市民】 市民起点の議会改革を推進する。 【人材】 職員間で事務の共有化を図る。 【経営】 ICT等の議会・議場環境の整備</p>
<p>6 部の 経営 体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所管課：議会事務局 ・ 人員：部長級2人、主幹級3人、主査1人（育休） ・ 予算：

7 部の 経営 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・議員発議による政策提案の支援：1件 ・議会だより特集記事の掲載：2回 ・適時適切な会議録の公開（本会議3か月以内、委員会1か月以内） ・時間マネジメントによる時間外管理：残業時間数 令和2年並み
8 部の 経営 方針	<ul style="list-style-type: none"> 【市民】市民の議会に向けた信頼度の向上 【経営】事務局と議員の適切な関係性の構築に向けた調整力の強化 【政策】議会における政策立案能力の確立・強化 【協働】議会モニター制度を活用した議会改革の推進 【人材】OJTによる職員研修の実施 【改善】業務改善ミーティングの開催
9 部の 重要 政策 の取 組内 容	<p>【新規】議場の環境整備／議場椅子及び議会収録放送システム更新、議員用タブレット導入</p> <p>老朽化した備品や、耐用年数が経過し経年劣化した収録放送システムを更新する。また、コロナ禍等におけるリモート環境整備やペーパーレス化に資する議員用タブレットを導入し、委員会のオンライン開催等の新たな取組や議会改革などの対応を図る。</p> <p>【拡大】①ニューノーマルに適応した、幅広い市民を対象とした議会報告会の開催 コロナ禍において新たな手法により、議会と多様で幅広い市民との意見交換を模索する。</p> <p>②市民感覚に即した市民起点の議会モニター制度を活用した議会改革の推進 メンバーの固定化傾向が伺える議会モニターの活用については、参画の手法を工夫しつつ、議長諮問への意見反映を含む議会改革の推進につなげる。</p> <p>【改良】①市民から親しまれる議会だよりの改善 改選による新たな編集体制でICTツール等を活用し、市民起点の「読まれる」紙面づくりに努める。</p> <p>②政務活動費の執行率向上 議員個々の調査研究等の活動活性化による議会の「見える化」を担保する政務活動費の執行率を向上させる。 目標／予算執行率80%</p> <p>③議員の資質向上 資質向上の研修内容の改良・豊富化、開催日時の柔軟な運用を考え、質・量の充実を図る。 目標／不穏当発言、不適切発言の皆減</p>

<p>10 経営 の仕 組み に関 する 取組 内容</p>	<p>【政策】 ◆政策提案／マーケティング分析を活用し、政策提案につながる素案を年間1件以上提出し、市民満足の向上に結びつく議会の内発的な政策提案・政策形成を促す。</p> <p>【組織・業務】 ◆業務改善の常態化／VUCAの時代にあっては、改良や改善は普通の業務であるとする部の方針を受けて、年間1件の業務改善活動を行う。</p> <p>【能力】 ◆人材育成の強化／人材育成基本方針に定める人材育成制度の活用やOJTの強化等により、事務局職員の市民起点の人材育成を進める。</p> <p>【情報】 ◆情報提供の拡充／議会だよりやケーブルテレビ、インターネットを通して、情報を発信し、議会活動や議会制度についての市民理解を深める。 ◆情報共有の推進／毎週の朝礼や日常的な対話（ダイアログ）を通じて職員間の情報共有を進める。</p>
--	---